

西宮市の決算の概要  
～平成29年度版～

平成30年8月

西宮市 政策局 財政部 財政課

## 目次

---

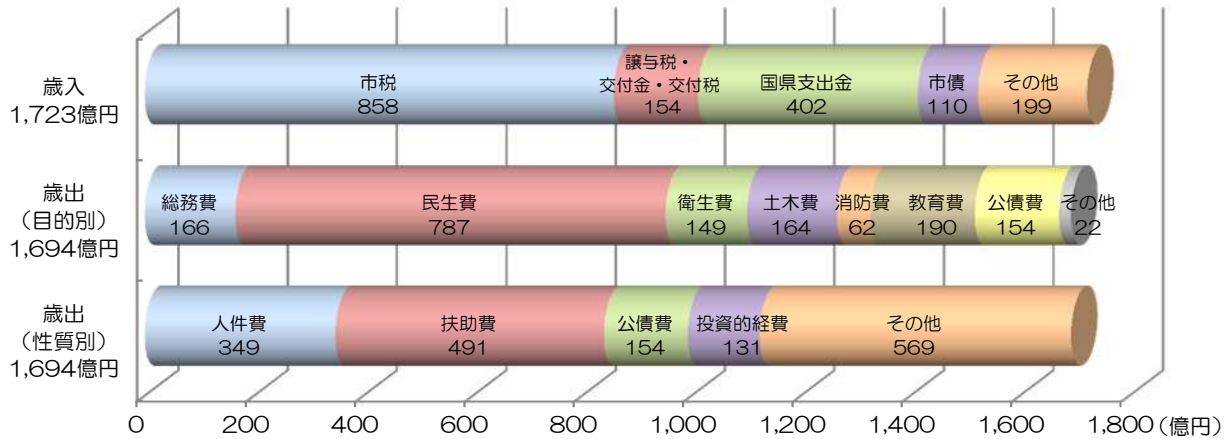
1.	決算の概要	1
2.	歳入の状況	2
3.	市税の状況	3
4.	歳出の状況	
	(1) 目的別	4
	(2) 性質別	5
5.	特別会計の決算状況	6
6.	西宮市の貯金（基金）	6
7.	西宮市の借金（市債）	
	(1) 市債の元金返済額と借入額の推移	7
	(2) 市債現在高の推移	7
8.	投資的事業の状況	8
9.	目的税等の使途	
	(1) 目的税	9
	(2) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分	11
10.	主な財政指標	
	(1) 経常収支比率	12
	(2) 財政力指数	13
11.	市民一人あたりの決算額	
	(1) 歳入	14
	(2) 歳出	14
	(3) 市債残高および基金残高	14

# 1. 決算の概要

## Point!

歳入から歳出を差し引いた29億円から、翌年度に繰り越した事業の財源（4億6千万円）を引いた24億4千万円が実質的な剰余金となります。

平成29年度一般会計決算状況



H29年度は、「持続可能な文教住宅都市」の実現に向けて、「子どもが育つのによいまち」・「子育て世帯に選ばれるまち」であるための施策、地域力の向上、防災や地域の安全・安心のための事業、保育所等の待機児童対策や公共施設の老朽化対策などを実施しました。

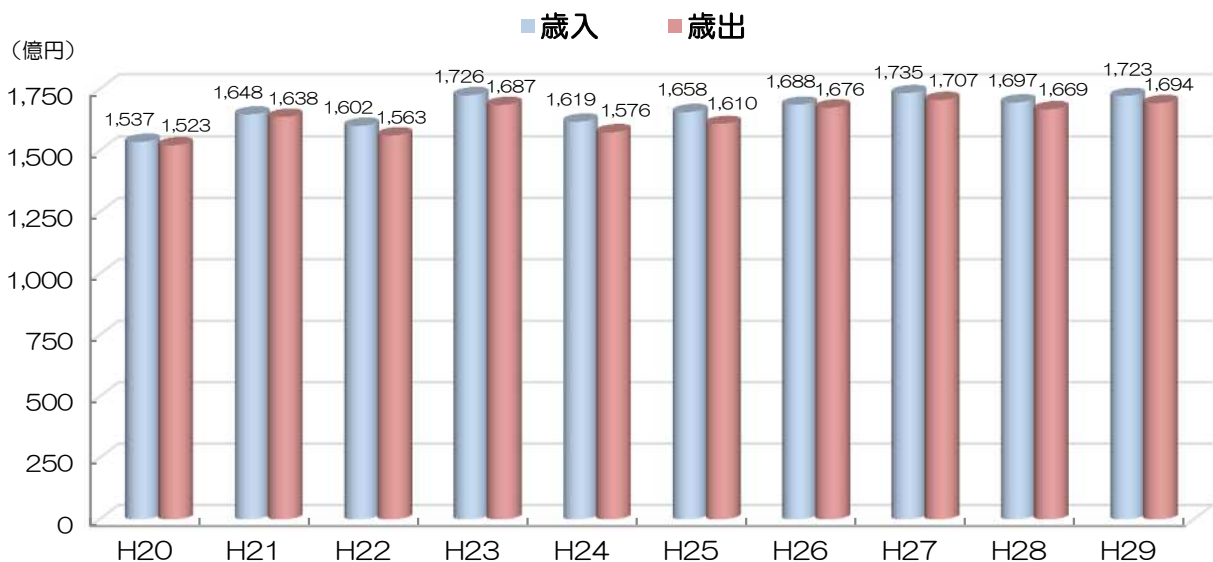
一般会計の決算額については、借金の返済である公債費は減額となりましたが、公共施設の建て替えなどの投資的経費や社会保障関係経費の増に加え、定年退職者数の増などに伴い人件費が増額となったことにより、歳入・歳出ともに前年度決算額を上回りました。

歳入では、他自治体へのふるさと納税の影響で個人市民税が減収となったことなどにより、市税収入が減額となりました。また、地方交付税も公債費の減に伴い減額となりました。一方で、投資的経費の増に伴って国庫支出金や市債は増額となっています。

また、歳出では、震災復興事業のために借り入れた市債のうち、一部の返済が前年度で終了したことなどにより公債費が減額となりましたが、公立保育所改築等整備事業や障害者介護給付費等の増などに伴い民生費が増額となったため、前年度に比べ増額となっています。

なお、当年度は、前年度に引き続き、市の貯金である財政基金の取り崩しをすることなく実質収支の黒字を確保することができました。実質収支の1/2（12億2千万円）は財政基金に積み立て、残りの1/2はH30年度の財源として活用します。

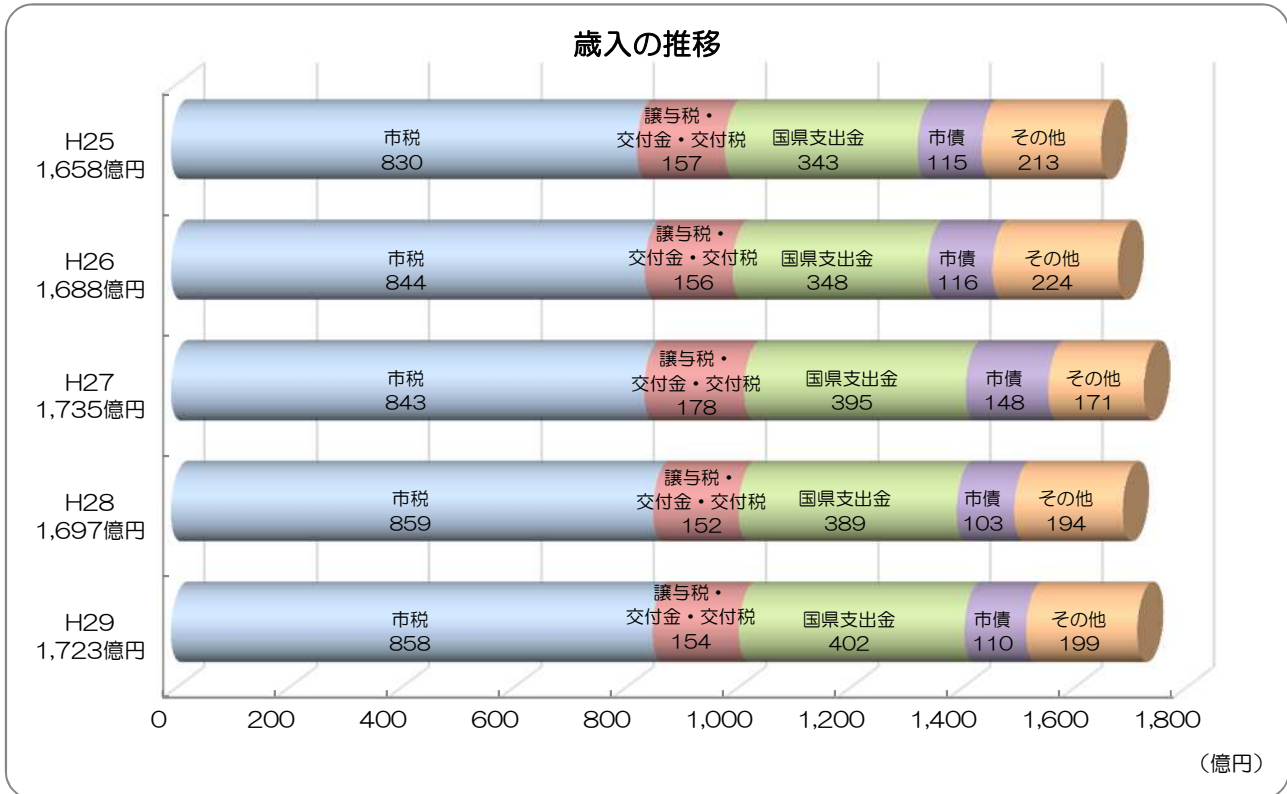
過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



## 2. 歳入の状況

### Point!

市税収入が歳入全体の49.8%を占めています。また、公債費の減に伴って、地方交付税が減となっています。



＜市 税＞ 他自治体へのふるさと納税による個人市民税の減収などにより、前年度に比べ1億3千万円の減額となっています。

＜譲与税・交付金・交付税＞

地方交付税が公債費の減に伴う算入額の減少等によって減額となりましたが、配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金及び地方消費税交付金などが増額となったため、総額では、前年度に比べ1億4千万円の増額となっています。

＜国県支出金＞

障害福祉サービス費等事業費などの増により県支出金が増額となったほか、民間保育所整備等事業費の増などにより国庫支出金が増額となったため、前年度に比べ1億3千万円の増額となっています。

＜市 債＞ 芦原むつみ保育所や瓦木消防署甲東分署の整備にかかる工事費の増などにより、前年度に比べ6億9千万円の増額となっています。

＜その他＞ 西宮北有料道路の無料化に伴い、兵庫県道路公社への貸付金の返済があったことや、土地売却収入の増などにより、前年度に比べ5億5千万円の増額となっています。

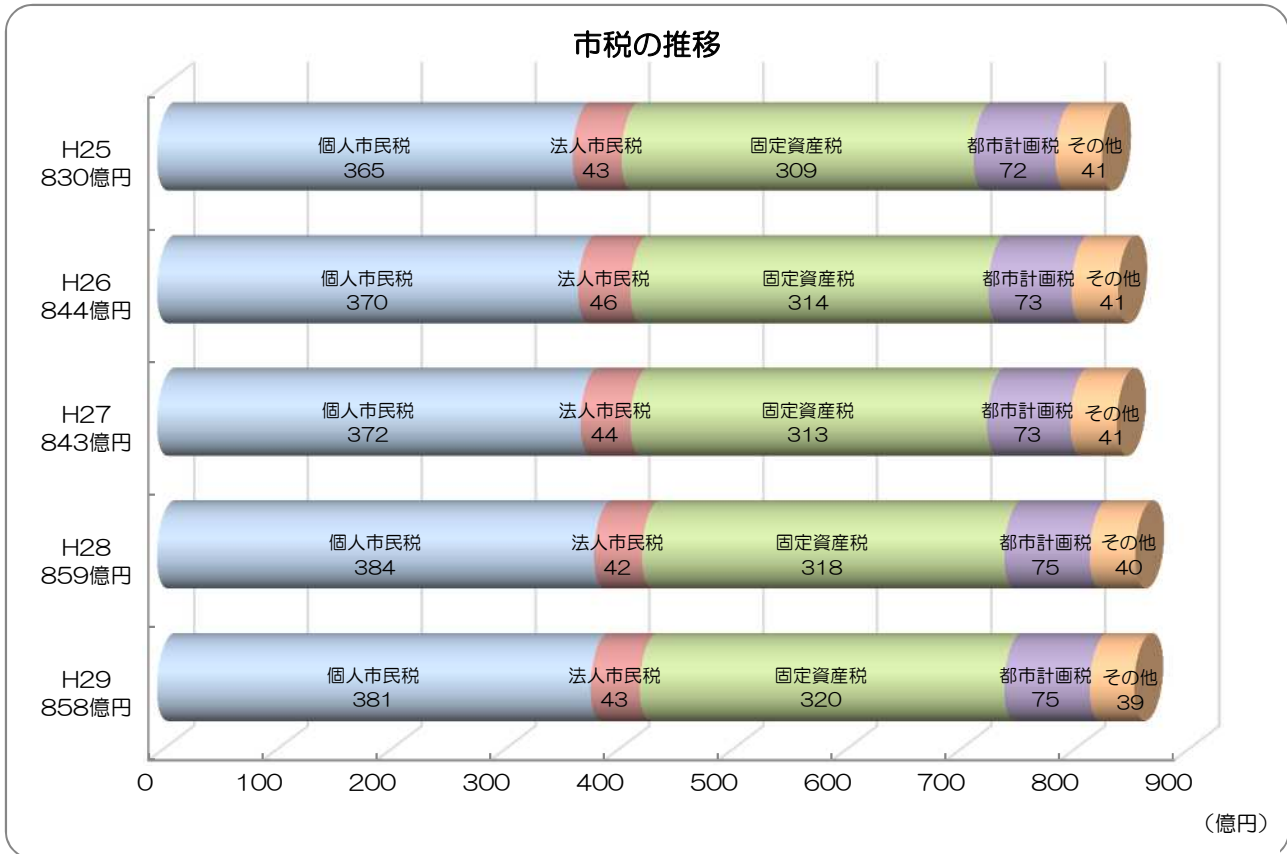
～用語解説～

譲与税・交付金・交付税・・・国税（自動車重量税など）や県税（地方消費税や自動車取得税など）として収入されたもののうち、市に一定割合が配分される収入や地方交付税などのことです。

### 3. 市税の状況

#### Point!

固定資産税及び都市計画税は増となりましたが、個人市民税や市たばこ税が減となったため、市税全体では減となりました。



※その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税・特別土地保有税。

#### <個人市民税>

H24年度以降5年連続で増となってきましたが、他自治体へのふるさと納税の影響を受け、前年度に比べ3億8千万円の減額となっています。

#### <法人市民税>

一部企業の収益増により、前年度に比べ6千万円の増額となっています。

#### <固定資産税及び都市計画税>

家屋の新增築により、固定資産税は前年度に比べ2億6千万円の増額、都市計画税は前年度に比べ6千万円の増額となっています。

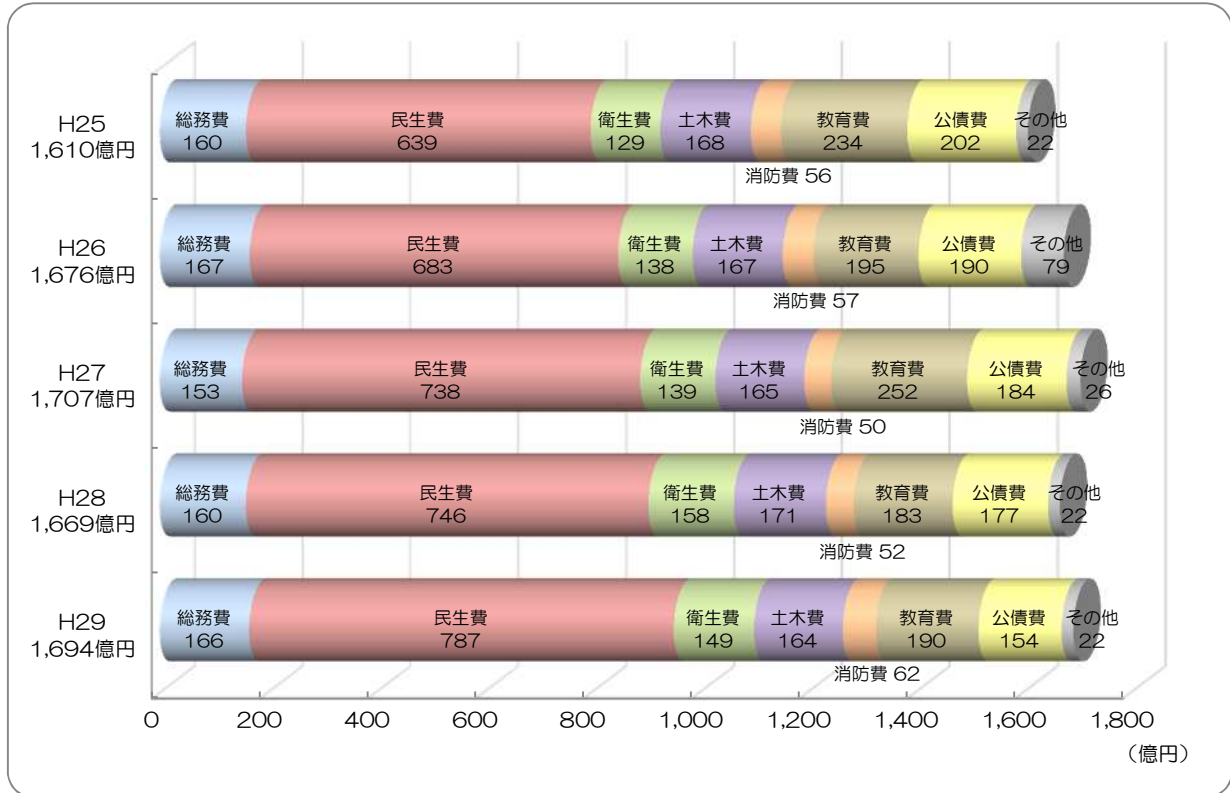
<その他> 市たばこ税については、売渡し本数の減により、前年度に比べ1億4千万円の減額となりました。

## 4. 歳出の状況

### (1) 目的別

### Point!

歳出の状況を目的別に見てみると、社会保障関係経費の増大により民生費が年々増加傾向にある一方、公債費（借金の返済）は減少傾向にあります。また、H29年度は瓦木消防署甲東分署の建替え等により、消防費が増えています。



＜総務費＞ 定年退職者数の増などにより職員の給与費（一般管理費）が増となり、前年度に比べ5億8千万円の増額となっています。

＜民生費＞ H25年度以降は年々増加傾向にあり、H29年度は公立保育所改築等整備事業費の増や障害者介護給付費等事業経費の増などにより、前年度に比べ41億2千万円の増額となっています。

＜衛生費＞ 病院事業会計への貸付金の減や、西部総合処理センター基幹設備更新事業費の減などにより、前年度に比べ8億5千万円の減額となっています。

＜土木費＞ 市営住宅整備事業費の減などにより、前年度に比べ7億7千万円の減額となっています。

＜消防費＞ 消防庁舎等整備事業費の増などにより、前年度に比べ10億2千万円の増額となっています。

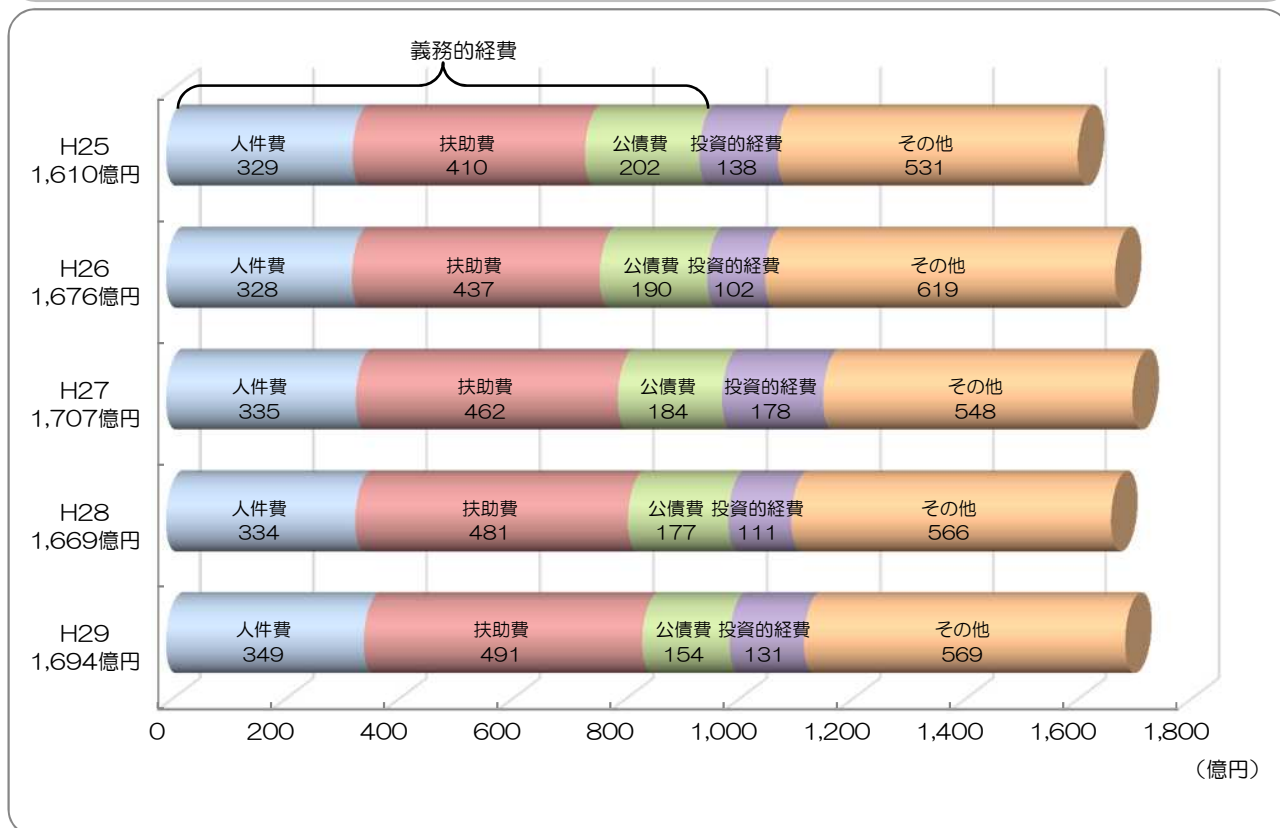
＜教育費＞ 越木岩福社会館の土地建物取得による公民館改修事業費などの増により、前年度に比べ7億2千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 震災復興事業のために借り入れた市債のうち、一部の返済がH28年度で終了したことなどにより、前年度に比べ22億9千万円の減額となっています。

(2) 性質別

**Point!**

歳出の状況を性質別に見てみると、義務的経費が全体の半分以上を占めています。義務的経費の中では、公債費（借金の返済）は減少傾向にありますが、扶助費が増加傾向にあります。また、H29年度は公立保育所や消防署の建替えなどの増により、投資的経費が増となっています。



<人件費> 定年退職者数が増になったほか、職員数の増や人事院勧告に基づく給与改定、共済費の引上げにより、前年度に比べ15億1千万円の増額となっています。

<扶助費> 障害者介護給付費等で9億1千万円の増額となったことなどにより、前年度に比べ9億7千万円の増額となっています。

<公債費> 震災復興事業のために借り入れた市債のうち、一部の返済がH28年度で終了したことなどにより、前年度に比べ22億9千万円の減額となっています。

<投資的経費>

市営住宅整備事業や小学校施設整備事業などが減となりましたが、公立保育所改築等整備事業や消防庁舎等整備事業が増となったことなどにより、全体で20億4千万円の増額となっています。

<その他> 病院事業会計への貸付金が減となりましたが、後期高齢者医療負担金や介護保険特別会計繰出金の増などにより、前年度に比べ2億8千万円の増額となっています。

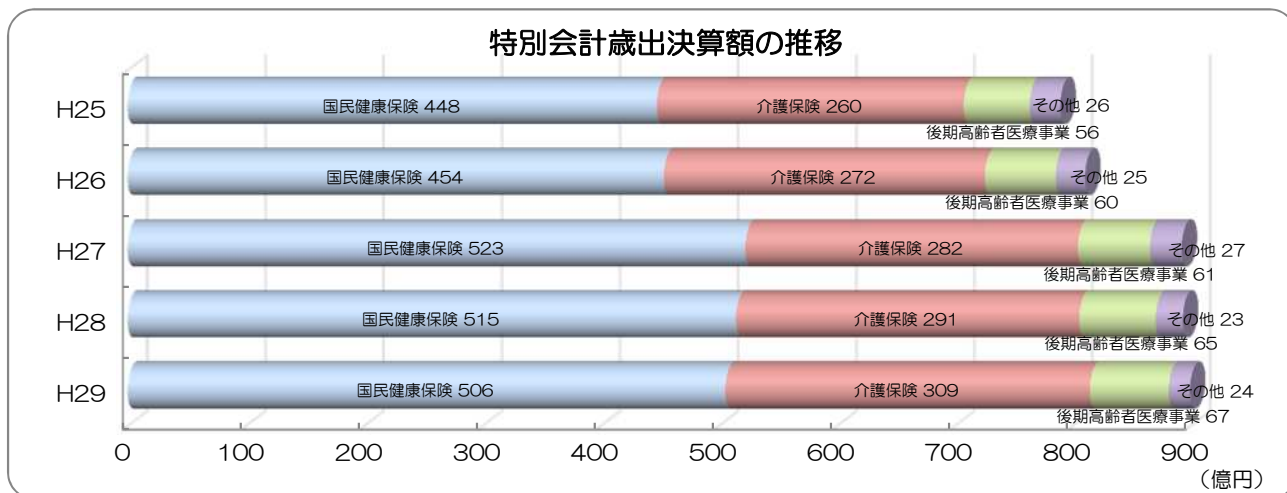
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費からなるもので、毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

※なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

## 5. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、後期高齢者医療制度への移行者が増えたことによる被保険者数の減少などにより、前年度に比べ8億8千万円（1.7%）の減となった一方で、介護保険特別会計は、介護サービス利用者数の増加により前年度に比べ18億2千万円（6.3%）の増となりました。また、後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加により前年度に比べ2億7千万円（4.1%）の増となりました。なお、特別会計全体では11億6千万円（1.3%）の増となっています。

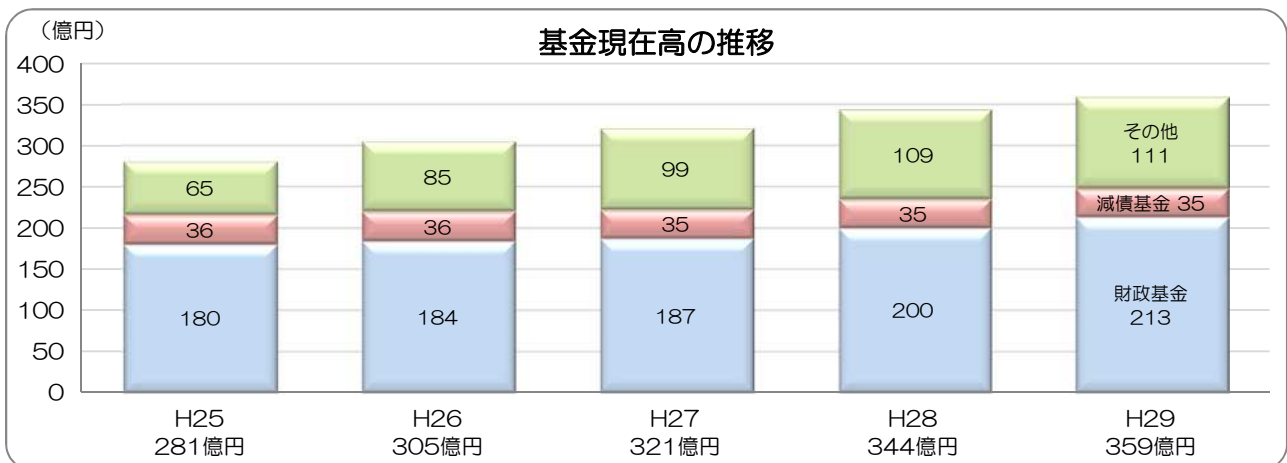


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には11の特別会計があります。

## 6. 西宮市の貯金（基金）

市の貯金は「基金」と呼ばれています。H29年度末の基金現在高は359億円で、前年度に比べ15億4千万円の増となっています。これは、決算上生じた剰余金等から財政基金に12億3千万円を積み立てたほか、公共施設保全積立基金に6億円を積み立てたことなどによるものです。



※一般会計、特別会計の基金合計額。

～用語解説～

財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。

減債基金・・・市債の償還（返済）等に必要な財源を確保するために設置している基金です。



## 7. 西宮市の借金（市債）

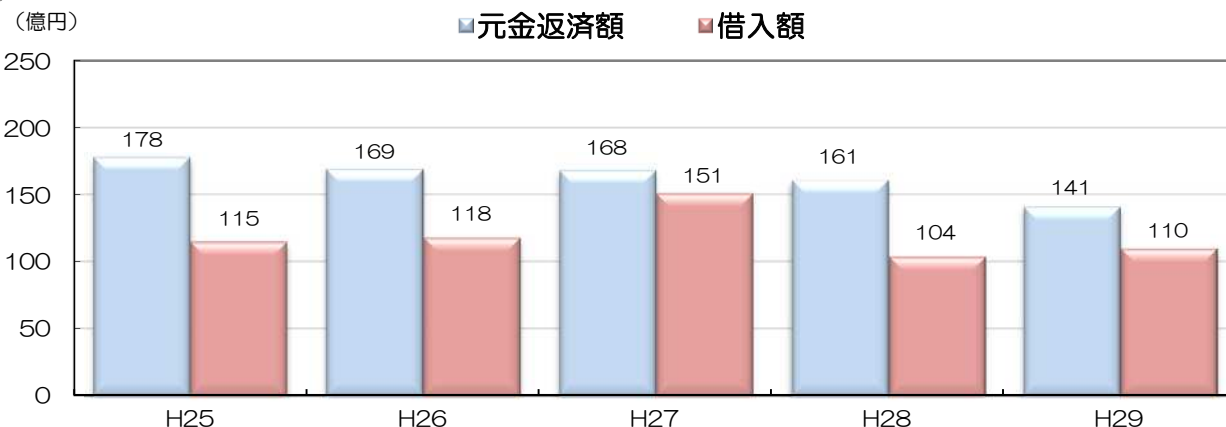
### Point!

借入金の元金返済以上に借金をしないことで、市債残高を減らし、財政健全化を図っています。

学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことを市債といいます。

公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間にわたりその施設を利用することから、市債を活用して建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図っています。

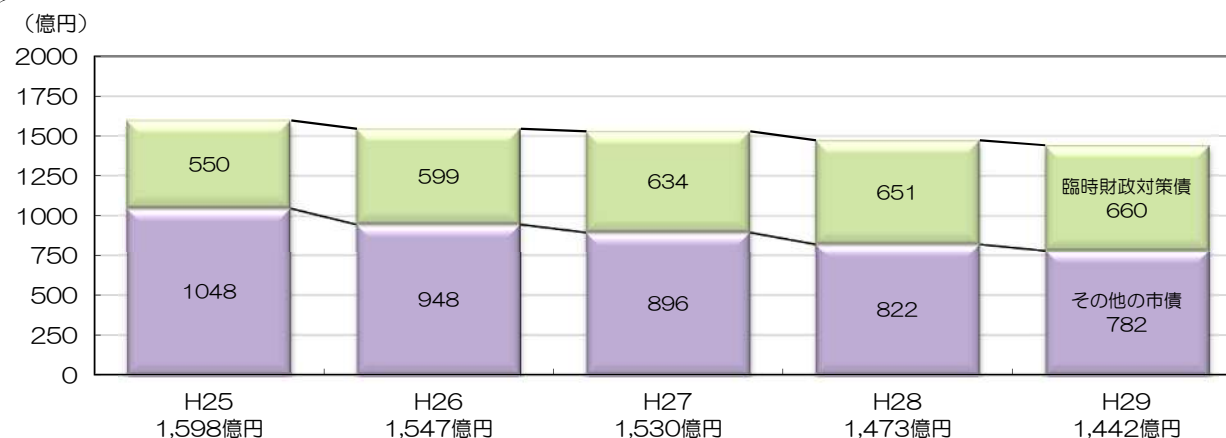
#### (1) 市債の元金返済額と借入額の推移



※一般会計、特別会計の合計額で、借換債を含む。

H29年度の元金返済額は140億7千万円で、前年度に比べ20億6千万円の減となっています。主な理由は、震災復興事業のために借り入れた借金のうち、一部の返済が前年度で終了したことによるものです。

#### (2) 市債現在高の推移



※一般会計、特別会計の合計額。

H29年度末での市債現在高は1,441億8千万円となっています。前年度末に比べ臨時財政対策債が9億2千万円の増となりましたが、主に震災復興に伴う区画整理などの借金返済が進んだことにより、その他の市債で40億円の減となったため、全体で30億8千万円の減となりました。

#### ～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいったん地方公共団体が借金をして賄う地方債のことです。H13年度から導入され、他の地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以降の地方交付税で賄われることとなっています。

## 8. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約131億円で、前年度に比べ20億3千万円の増額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位：千円)

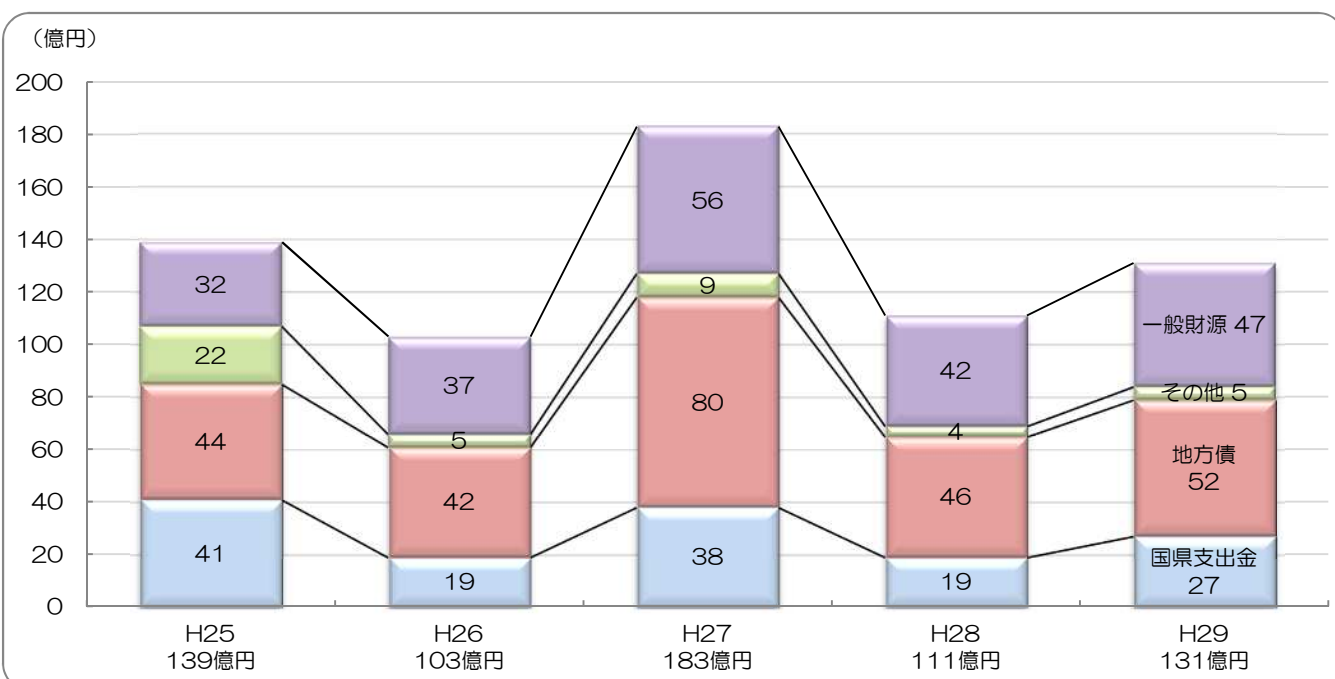
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	13,079,146	2,695,971	5,240,100	499,570	4,643,505
特 別 会 計	61,130	0	0	30,720	30,410
合 計	13,140,276	2,695,971	5,240,100	530,290	4,673,915

主な投資的事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
公立保育所改築等整備事業	1,278,684	H28年度に着手した芦原むつみ保育所・むつみ児童館新築工事を竣工し、浜脇保育所・児童館の大規模改修他工事を行いました。また、H28年度に着手した今津南保育所の大規模改修他工事の設計を終えました。
西部総合処理センター基幹設備更新事業	1,137,492	焼却施設の老朽化に対応するため、基幹設備等について更新工事を行いました。
学校施設整備事業	1,083,301	小学校施設では、北夙川小学校においてサッシ改修工事、4校でエレベーター設置工事、26校で外壁補修緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。中学校施設では、山口中学校においてエレベーター設置工事、4校でトイレ改修工事、15校で外壁補修緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。高等学校施設では、西宮高等学校及び西宮東高等学校において、放送設備改修工事を行いました。幼稚園施設では、生瀬幼稚園用地拡大に伴う土地取得を行いました。
民間保育所等整備事業	893,667	増大する保育需要に対応するため、新設する保育所3ヶ所と幼保連携型認定こども園1ヶ所及び建替えする保育所2ヶ所の整備に対する補助を行いました。

H25年度からH29年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、H27年度は、高木北小学校新設事業や南甲子園及び上甲子園小学校校舎等増改築事業を実施したことにより大きく膨らみました。



## 9. 目的税等の使途

### (1) 目的税

租税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税されるものを目的税といいます。西宮市では、都市計画税、入湯税、事業所税の3つの目的税があります。

#### 【都市計画税】

歳入決算額 7,517,476千円

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり街路事業（都市計画法に基づいた道路を整備する事業）や下水道事業、関連する公債費（借金の返済）などに充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
土木費	都市計画総務費	298,665	4,712	0	0	293,953	290,727
	街路事業費	708,134	279,882	365,400	2,321	60,531	59,867
	区画整理事業費	11,311	1,705	6,700	0	2,906	2,874
	公園整備費	172,576	34,000	107,500	0	31,076	30,735
	下水道事業費	3,932,115	0	0	0	3,932,115	3,888,958
公債費	元金	3,073,107	0	0	0	3,073,107	3,039,378
	利子	207,211	0	0	0	207,211	204,937
合計	8,403,119	320,299	479,600	2,321	7,600,899	7,517,476	

#### 【入湯税】

歳入決算額 17,803千円

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光の振興に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおりごみ処理施設や消防施設の整備、観光の振興に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 入湯税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
衛生費	清掃工場費	104,976	0	0	0	104,976	2,580
	清掃施設整備費	1,137,491	480,512	478,400	0	178,579	4,389
商工費	観光費	47,102	0	0	0	47,102	1,157
消費費	消防費	6,804	0	0	0	6,804	167
	消防施設整備費	1,125,821	14,042	677,600	47,186	386,993	9,510
合計	2,422,194	494,554	1,156,000	47,186	724,454	17,803	

【事業所税】

歳入決算額 1,370,727千円

事業所税は、人口、企業が都市部に集中することによって発生する交通問題やごみ処理問題などの解決を図る等、都市環境の整備に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり教育や医療、社会福祉施設等の整備に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち事業所税 充当額	
総務費	大学交流センター整備費	73,584	0	0	0	73,584	35,835
	平和資料館整備費	186	0	0	0	186	90
	市民文化施設整備費	127,804	0	0	0	127,804	62,240
	運動施設整備費	183,573	0	63,000	0	120,573	58,719
民生費	社会福祉施設整備費	279,058	16,161	198,100	49,605	15,192	7,399
	老人福祉施設整備費	107,433	11,113	0	4,642	91,678	44,647
	児童福祉施設整備費	2,378,036	699,150	1,189,900	3,293	485,693	236,532
	障害福祉施設整備費	50,002	15,458	21,800	0	12,744	6,206
衛生費	保健衛生施設整備費	113,205	0	0	0	113,205	55,131
	環境施設整備費	26,468	0	0	0	26,468	12,890
教育費	学校整備費	1,716,142	145,284	397,500	142,708	1,030,650	501,925
	幼稚園整備費	20,619	0	0	0	20,619	10,041
	社会教育施設整備費	16,784	0	0	0	16,784	8,174
	公民館整備費	609,453	0	383,900	0	225,553	109,844
	図書館整備費	217,666	0	0	0	217,666	106,003
	青少年教育施設整備費	29,664	0	0	0	29,664	14,446
	給食施設整備費	65,850	0	0	0	65,850	32,069
小計	6,015,527	887,166	2,254,200	200,248	2,673,913	1,302,191	
徴税費	68,536	0	0	0	68,536	68,536	
合計	6,084,063	887,166	2,254,200	200,248	2,742,449	1,370,727	

(2) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分

H26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分は、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

地方消費税交付金 歳入決算額 7,544,202千円  
 (うち消費税率の引上げによる増収分(社会保障財源化分) 3,357,904千円)

社会保障施策とは

- ①社会福祉・・・生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など
- ②社会保険・・・国民健康保険、介護保険、年金など
- ③保健衛生・・・医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策などのことをいいます。西宮市では以下のとおり充当しています。

(単位：千円)

区分	予算科目	決算額	財源内訳				
			国県支出金	その他	一般財源	うち引上げ分の地方消費税交付金	
社会福祉	民生費	児童福祉総務費	51,742	7,966	606	43,170	298
		児童保育費	7,897,586	3,901,541	1,268,230	2,727,815	371,995
		子育て総合センター費	82,924	20,528	83	62,313	5,442
		児童育成費	1,274,829	420,877	299,072	554,880	71,263
		障害援護費	9,788,702	7,354,757	1,043	2,432,902	444,395
		生活保護扶助費	14,330,834	10,901,911	196,005	3,232,918	609,086
		小計	33,426,617	22,607,580	1,765,039	9,053,998	1,502,479
社会保険	民生費	国民健康保険事業費	4,763,328	1,791,686	0	2,971,642	416,399
		介護保険事業費	4,517,949	61,987	0	4,455,962	705,125
		後期高齢者医療事業費	1,277,703	660,526	0	617,177	41,181
		小計	10,558,980	2,514,199	0	8,044,781	1,162,705
保健衛生	民生費	医療福祉費	2,911,969	769,551	163,336	1,979,082	308,479
	衛生費	保健所費	156,461	68,029	0	88,432	13,889
		保健予防費	2,243,464	53,009	202,262	1,988,193	370,352
		小計	5,311,894	890,589	365,598	4,055,707	692,720
合計		49,297,491	26,012,368	2,130,637	21,154,486	3,357,904	

## 10. 主な財政指標

### (1) 経常収支比率

#### Point!

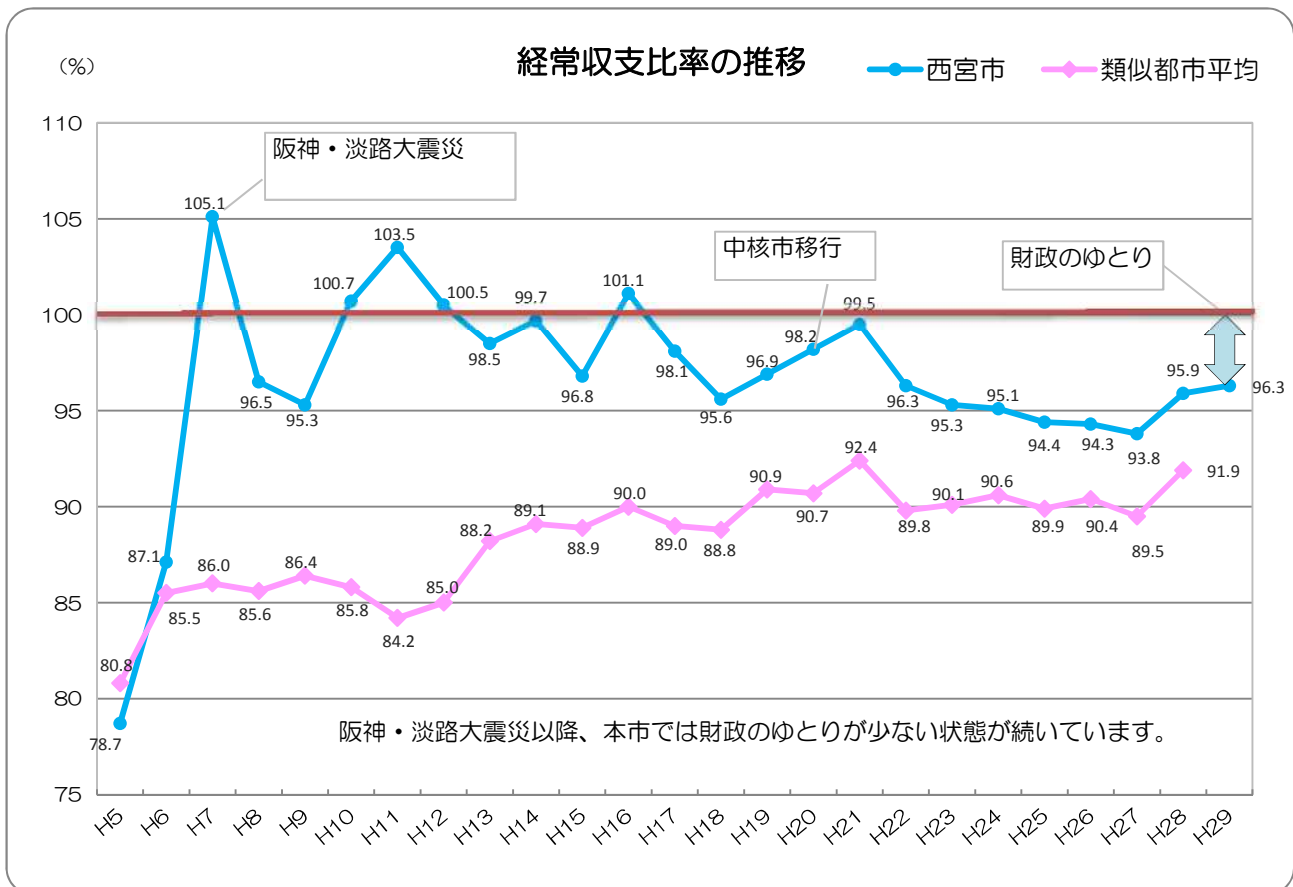
H29年度は96.3%で、前年度(95.9%)と比べて0.4ポイント悪化しています。前年度に引き続き2年連続での悪化で、依然として類似都市平均より高い状況が続いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあると言えます。

これを家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。この比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金の取り崩しや借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

西宮市では、H29年度は96.3%で、前年度と比べて0.4ポイント悪化しています。これは歳出において、公債費は減となりましたが、人件費や扶助費、繰出金などの経常的な経費に要する一般財源が増額となったことなどによるものです。

類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。  
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

(2) 財政力指数

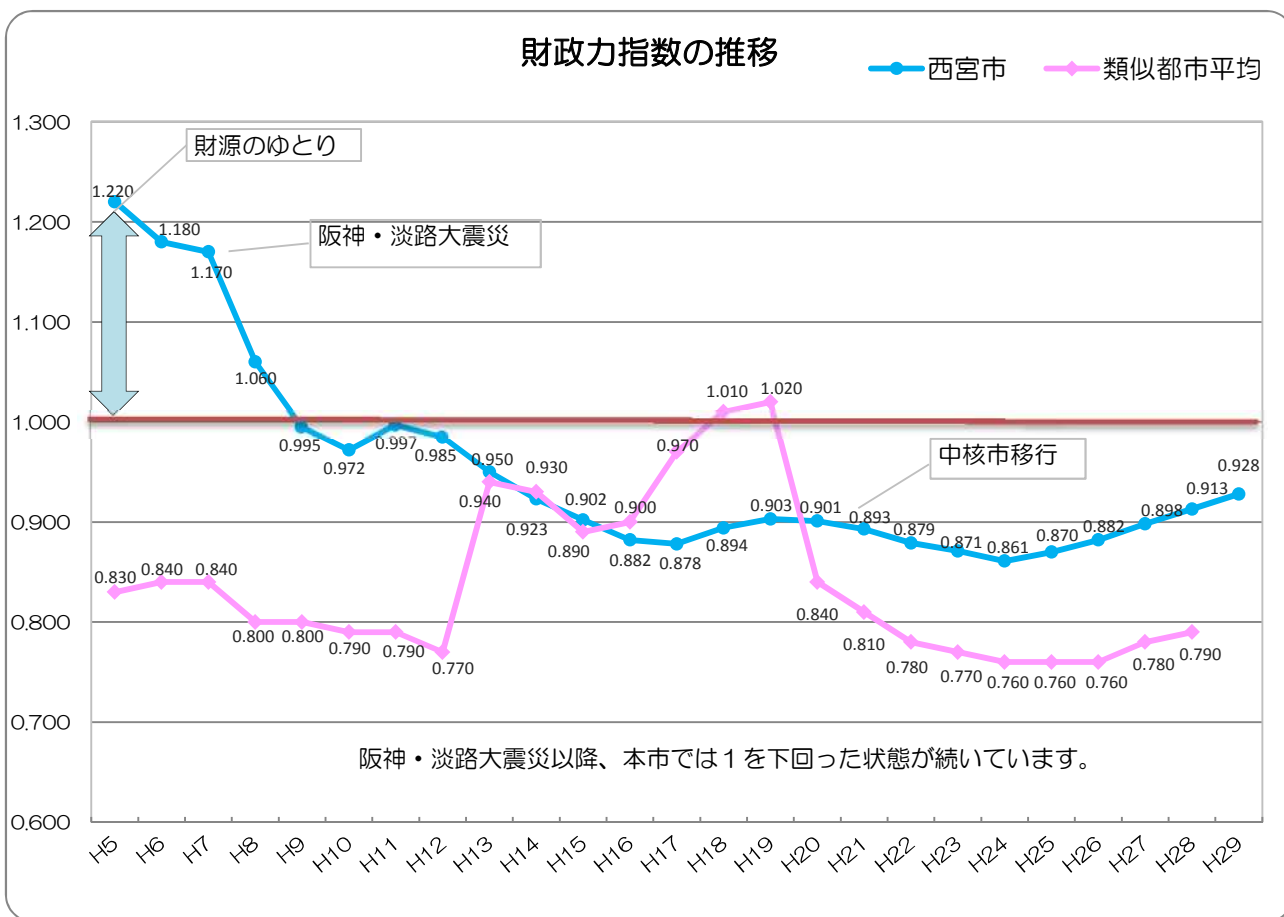
**Point!**

H29年度は0.928で、前年度(0.913)と比較すると0.015ポイント改善しています。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指数で、普通交付税上の標準的な状態において徴収が見込まれる税収入(基準財政収入額)を標準的な行政を行った場合の財政需要(基準財政需要額)で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり、財源にゆとりがあるということになります。

西宮市では、H29年度は0.928で、前年度と比較すると0.015ポイント改善しています。

阪神・淡路大震災以降、数値が低下しましたが、類似都市と比較すると、やや高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤がやや強いことを示しています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。  
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

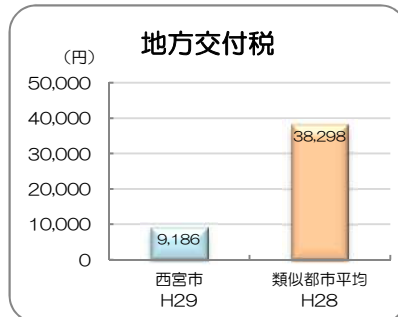
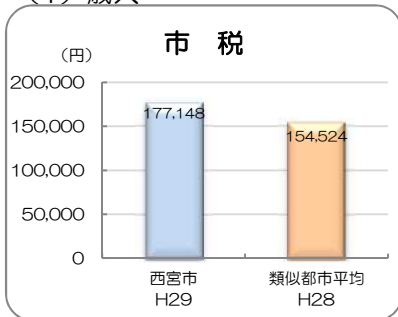
# 11. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

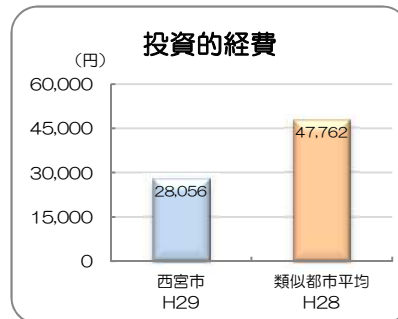
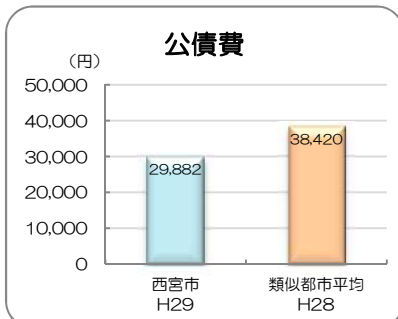
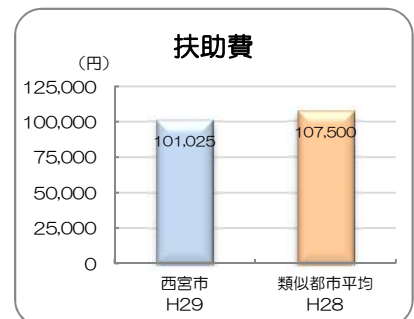
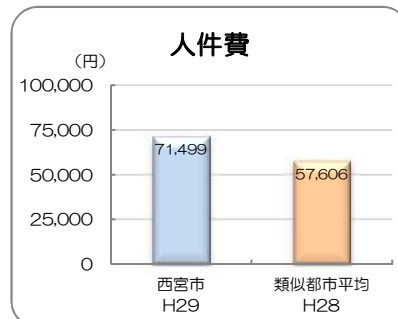
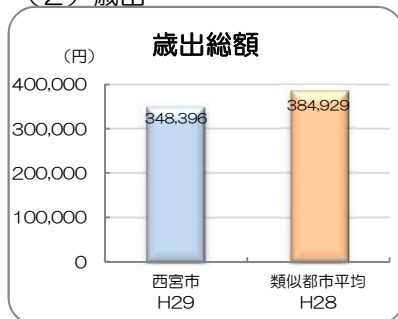
類似都市平均はH28年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市（H29）の数値は住民基本台帳に基づく人口484,152人（H30年3月31日現在）より算定しています。

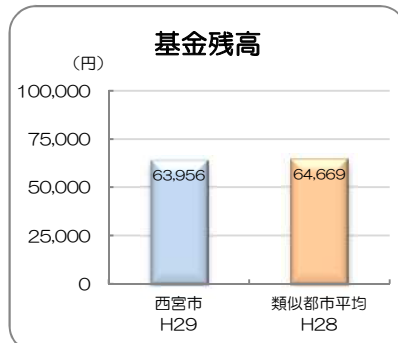
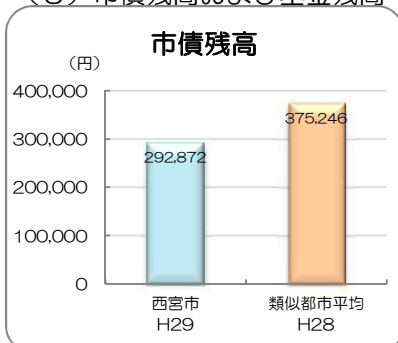
## (1) 歳入



## (2) 歳出



## (3) 市債残高および基金残高



### ～用語解説～

普通会計・・・地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、団体間の財政比較が難しいため、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分のことです。西宮市では、一般会計のほか区画整理清算費、中小企業勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。